様式第１号の１（第３条関係）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 二級木造 | 建築士免許申請書（第一面） |

[記入注意] 数字は、算用数字を用い、※欄は記入せず、□のある欄は該当する□の中にレ印を付けてください。

外国の建築士免許を受けた方は、「試験」の欄にその免許の名称、免許者名及び免許の年月日を記入してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 私は、 | 二級木造 | 建築士の免許を受けたいので、建築士法施行細則第３条に規定する書類を添え、申請します。 |
| 私は、下記事項が真実で、かつ正確であることを誓います。  年 月 日 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名　　　　　　　　　　　　　　　　印長崎県指定登録機関一般社団法人　長崎県建築士会会長　様 |
| ふ り が な氏 名 |  | 生年月日  |  年 月 日生 | 写真 １ 縦4.5cm、横3.5cmの写真の裏面に氏名及び撮影年月日を記入してのりで貼り付けてください。 ２ 貼付した写真は免許証に転写されます。  |
| 本 籍 |  | 性 別 | 男□ 女□　 |
| 現 住 所 | 〒電話 |
| 試　　　　　験 | 二級建築士試験又は木造建築士試験に合格した年:　　 年 |
| 合格通知書日付 |  年 月 日 | 合 格 番 号 | 第　 　 号 |
| 登録申請区分 | １ 学歴のみ又は学歴＋実務 □ ２ 実務のみ □ 　３ 建築士法第４条第５項 □ |
| １学歴のみ又は学歴＋実務により申請する場合にのみ記入 | 学校名  | 学部名・学科名  | 入学・卒業（修了）年月  | 建築実務経験期間の合計※学歴のみの場合記入不要  |
|   |   | 年 月入学 ・年 月卒業(修了)  |  　 年 月 |
|   |   | 年 月入学・ 年 月卒業(修了)  |
| ２実務のみにより申請する場合にのみ記入 | 建築実務経験期間の合計 |
|  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 年 月  |
| ３建築士法第４条第５項により申請する場合のみ記入 | 免許名称  | 免許者名  | 免許の年月日  | 資格認定書の年月日 |
|   |   | 　年 月 日  |  年 月 日 |

（第二面）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 欠　　格　　事　　由 | １　禁錮以上の刑に処せられたことがありますか。 | ある□ ない□ |
| 　　あるときはその罪及び刑 |  |  |
| 　　あるときはその刑の執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日 | 年 月 日 |
| ２　建築士法の規定に違反して、又は建築物の建築に関し罪を犯して罰金の刑に処せられたことがありますか。 　　 | ある□ ない□ |
| 　　あるときはその罪及び刑 |  |  |
| あるときはその刑の執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日 | 年 月 日 |
| ３　建築士法第９条第１項第４号又は第10条第１項の規定により一級建築士、二級建築士又は木造建築士の免許を取り消されたことがありますか。 | ある□ ない□ |
| 　　あるときは、その日 | 年 月 日 |
| ４　建築士法第10条第１項の規定による業務の停止の処分を受け、その停止の期間中に建築士法第９条第１項第１号の規定により一級建築士、二級建築士又は木造建築士の免許を取り消されたことがありますか。 | ある□ ない□ |
| 　　業務の停止の処分を受けたことがあるときは、その停止の期間 | 年 月 日から年　月　日まで |
| ５　精神の機能の障害により二級建築士又は木造建築士の業務を適正に行うに当たって必要な認知、判断及び意思疎通を適切に行うことができない状態ですか。 | はい□ いいえ□ |
| 登　録　免　許　手　数　料　　　貼　付　欄 |
| ※経由庁(機関)記載欄  | ※登録機関記載欄  |